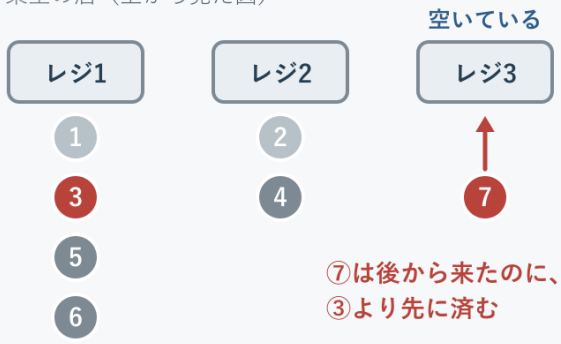
効率と公正で比べるレジの並び方

店のレジの並び方を変えると、効率と公正の見方からどう評価できるか

A　レジごとに並ぶ

架空の店（上から見た図）

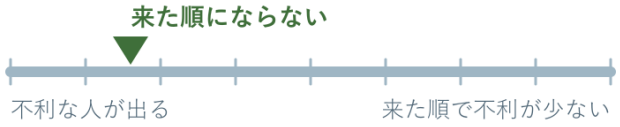


空いたレジがあっても、ほかの列の人は移りにくい

効率　（むだなく使えるか）



公正　（不利になる人がいないか）



物差しの位置は、この例での目安（模式）

B　1列に並んで、空いたレジへ

架空の店（上から見た図）



1列に並び、来た順に、先頭の人から空いたレジへ進む

空いたレジ3をすぐ使える

効率　（むだなく使えるか）



公正　（不利になる人がいないか）



物差しの位置は、この例での目安（模式）

評価は条件で変わる

B の並び方は、列のための広い場所が要る。
空いたレジまで歩く手間もかかる。
客が少ない時間は、A と B のちがいが小さい。

どちらがよいかは、店の広さや客の数などで変わる。

効率と公正の両方から考え、合意できる方法を選ぶ。

ほかの場面にも当てはめる

図書室の人気の本を、どの順で貸し出すか

給食のおかわりを、どの順で配るか

効率と公正では、どう評価できる？

※ 架空の店の模式図。物差しの位置は説明のための目安で、実測した値ではない。どちらかを正解として示すものではない。